

☑ 収穫作業前のチェックポイント 9月

～忙しくなる前の最終確認～

1. 収穫適期と品質

- ☐ それぞれの品種に合わせた収穫適期を守って品質保持！
→刈り遅れがないようにする、刈り取りの日程・手順を決めておく。
青籾率など先月号を参考にしてください。
- ☐ 落水が早すぎると品質低下の原因につながる。
→圃場の水を切らすのは収穫する7～5日前から行う。



2. トビイロウンカについて

- ☐ 収穫期が遅い品種、収穫日が遅い圃場ほどトビイロウンカの被害を受けやすい。
→株元に注意を払いながら適宜薬剤散布をしましょう。(↓薬剤例)
- ※粒剤は液・粉剤と比べ、効果が出るのに時間がかかります。
安全性が確保出来るよう使用方法を守って散布してください。



薬剤名	使用時期	10a当たりの濃度・量
スタークル液剤	収穫7日前まで	1000倍・60～150L
トレボン乳剤	収穫14日前まで	2000倍・60～150L

3. 乾燥調製について

- ☐ 乾燥は14.5%～15%になるよう調整する。
→急激な乾燥は割れ米の原因に。高水分収穫を避けること。
- ☐ 個人で乾燥調製を行う場合は必ず機械のメンテナンスを！



<お知らせ>

農協主催で豊肥地区ヒノヒカリ良食味コンテスト開催します！
詳細は営農経済センター・各グリーン店設置のチラシをご覧ください。

